

独立行政法人統計センター評価に関する有識者会議[議事要旨]

1 日 時:令和3年8月4日(水) 14:00~15:00

2 場 所:総務省第2庁舎 7階統計局長室(オンライン併用)

3 出席者:(有識者)廣松毅(座長)(オンライン:岩下真理、加藤久和、小林稔、津谷典子)(敬称略)

(統計局)井上統計局長、永島総務課長、石川課長補佐、事務局

(統計センター)高田経営審議役(オンライン:山田総務部長・山邊統計編成部長・布施情報システム部長・榎田統計技術・提供部長、野村経営企画課長 陪席:江原経営企画課副課長、山下係長)

4 議題:(1)令和2年度に係る業務の実績に関する評価(案)について
(2)総合評定(案)について
(3)その他

5 議事概要:

(1)総務省統計局から令和2年度に係る業務の実績に関する主務大臣による評価(案)の説明が行われた。

(2)質疑が行われた後、総務省統計局から総合評定(案)について、説明が行われ、項目別評定及び総合評定共に妥当であるとの意見で一致した。

(3)有識者からの主な意見等は以下のとおり。

○評価基準の見直しについて、非常に分かりやすくなっており賛成する。製表プロセスに合わせた統一的な基準としたことで、システムティックかつ公正な評価になっている点を評価したい。

○総合評定について、妥当な評価である。今後の評価に当たっては、短期的な視点だけでなく、長期的な視点での検討をしていただくとともに、労働コストの削減や収入面だけを見るのではなく、マンパワーの質や経験、専門性も考慮することが必要ではないか。

○「統計調査の製表業務」について、中止となった統計調査も多かった中、きちんと実施されたことは高く評価したい。経済構造実態調査においては、いろいろな苦労があるだろうが、各企業との関係を構築していくことは重要であり、この点を高く評価したい。

○オーダーメイド集計や匿名データは堅調に推移している中、今後は更に広めるための努力などの取組を続けていただきたい。

○e-StatのAPIへの取組について、APIのバージョンアップにも素早く対応したことはSNSでも話題になっていることに加え、件数も着実に増えてきているため、更に評価して

よい。

○テレワークの拡充やコロナ対応も、臨機応変にうまくやったと高く評価している。ただ、一部の企業では、テレワークの推進によりセキュリティの脆弱性が高まることが懸念されているところであり、そういうことが起きないように十分に注意して進めていただきたい。

○危機管理について、公表時期を守って取り組んだ努力を高く評価したい。

以 上